

## 健康づくり・医療的な支援の検討状況

## 今後の課題（中間報告書より）

## ◆ 生涯を通じた健康づくりの支援

生涯を通じて健康を維持していくためには、疾病にかかり治療が必要になってからではなく、普段の日常生活からかかりつけ医、かかりつけ歯科医を持ち、医療について相談しやすい環境や、検診・健診等を通じて予防・健康維持につなげていくことができる体制を、ライフステージを通じて構築していく必要があります。

## 主な取組

## (1) 各種検診の実施

- ア 健康増進健診、特例項目外健診
- イ 各種がん検診（胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・肺がん・前立腺がん・胃がんリスク検査）
- ウ 歯周病検診
- エ 肝炎ウイルス検診
- オ 結核検診
- カ 骨粗しょう症検診

ア～オのお知らせ時には車椅子対応可能な施設を示しています。

## (2) 健康づくりに向けた取り組み

- ア 今から始める健康づくりシリーズ
- イ ヘルスアップ教室
- ウ 健康づくり始める会
- エ 受動喫煙防止に関する啓発や教育
- オ 自殺予防講演会・ゲートキーパー養成講習会
- カ 食事なんでも相談

保健師、外部講師等が健康推進のための実技や講義を行っております。

障害のある方が参加する際には個別で相談に応じます。

## 今後の課題（中間報告書より）

## ◆ 医療を受けやすい体制づくり

障害特性に応じた専門診療だけでなく、地域生活においては内科、歯科など多様な医療ニーズがありますが、障害児・者にとってはアクセスが限られている現状があります。そのために、福祉と医療の連携を進め、地域の医療機関における障害児・者の受入れの障壁となっているものを取り除き、より多くの医療機関を障害児・者が受診しやすい環境を充実させていく必要があります。

## 主な取組

## (1) 医療と福祉の相互理解についてのワーキング

障害当事者、医療従事者、福祉従事者が受診や健診時における課題や意見を出し合い、双方の理解をより一層深めることで、障害のある方が安心して受診できるような環境づくりについて検討する。

## 令和4年度の検討状況

- ・ワーキングメンバー内の医療面における現状把握。
- ・意見を踏まえた調布市医師会にアンケートを実施し、集計する。
- ・アンケート結果から導きだされた課題を考察、検討する。

## 令和5年度の検討予定（案）

- ・医療側へ障害理解や合理的配慮について周知するためのパンフレットを作成予定
- ・医師会に障害理解のための講演会を実施予定
- ・受診時に障害のある方及びその家族が障害特性について医師に説明ができずに、受診が滞ってしまうことがある。そこで、フェイスシート（氏名、年齢、障害特性等を記載したシート）を作成することで円滑な受診を促す予定。

## (2) 障害者歯科診療事業

- ・一般歯科での受診が困難な障害のある方を対象とした小島町歯科診療所（予約制）を歯科医師会に委託して運営。